

新穂高の溪流保全工事で恵橋架け替え 8月下旬から仮橋に迂回

新穂高ロープウェイの乗り場に近い岐阜県高山市の新穂高溪流の保全工事で、蒲田川にかかる恵橋が架け替えられることになった。8月のお盆休み後に取り壊しにかかり、約80 m上流に既に完成している仮橋の利用に切り替わる。完成は2015年3月末の予定で、工事期間中は大型車両の出入りが増える見通しのため、関係者は登山者



取り壊される恵橋と迂回路になる仮橋

らに注意と理解を呼び掛けている。

恵橋は、槍ヶ岳に水源を発する右俣谷と、樺沢岳が水源の左俣谷が合流する付近にあり、新穂高の登山や観光の拠点に位置している。保全工事は、付近の土石流災害を防ぐために川幅を広げ、砂防ぜきを整えるなどの措置を取る。それに伴って恵橋も架け替えが必要になった。

新しい恵橋は歩道部分も含めて幅5.5 mとなり、現在より拡幅されて、歩行者が山の眺めを楽しめる場所も設けられる計画。